

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

<b>ワークショップ 11</b>	
企画名	もう一つの診断推論の話をしよう ―診断エラーの視点から―
日時	2017年5月13日（土） 15:00～16:30
会場	第4会場（サンポートホール高松 ホール棟 6F 61会議室）
企画責任者	高田 俊彦（福島県立医科大学白河総合診療アカデミー）
定員	35名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b> 日常診療において陥りがちな診断エラーの要因、そしてそれをいかに防ぐかについて学ぶこと</p> <p><b>【概要】</b> 診断推論への注目が高まり、ケースカンファレンス、診断学に関する研究などをよく目にするようになりました。確かに、正確な診断のためには、正しい推論プロセスについて学ぶ必要がありますが、一方で誤った推論プロセス、すなわち診断エラーをいかに防ぐかという、もう一つの視点も必要ではないでしょうか。診断エラーに繋がる要因は日常診療のあちこちに潜んでおり、まずはそれを認識し、予防につなげる工夫が重要です。</p> <p>そこで、このワークショップでは次の3点を学習目標とします。1 代表的な診断エラー（各種ヒューリスティック、バイアス）について知る 2 診断エラーのリスクを察知し、防ぐことができる 3 診断エラーを共有し、改善につなげるカンファレンス開催のコツを知る</p> <p>今回は、これまでの開催で要望が多かった3の内容を新たに加えブラッシュアップしています。さあ、もう一つの診断推論について共に学びましょう！</p>	